



飛ばないナミテントウ



作物に付く害虫を退治する目的で、化学農薬をまく代わりに、害虫を食べる昆虫（天敵）を使う方法があるのをご存じですか。例えば、農業用ハウスでアブラムシが大量に発生すると作物に被害が生じますが、そこに天敵のナミテ

ントウを放すことでアブラムシを捕まえて食べてもらうという方法があります。

◆今までの問題点

これは良いアイデアなのですが、せっかく作物の上にナミテントウを放してもハウス内の天井に集まってしまい、アブラムシを食べてくれないことが多いという問題がありました。上に向かって飛んでいくナミテントウの性質が、農業に利用するときには邪魔



おばあちゃんの作っているナスが去年アブラムシが大量発生して大変だったんで、今年も出たらどうしようかって心配していたわ

アブラムシかナスはビニールハウスだったよね ナミテントウはどうかなあ

テントウムシ？
害虫をやっつけるのに化学農薬を使わないでその天敵を利用する方法があるんだよ
アブラムシならナミテントウを放して食べてもらうんだ

になっていたのです。

◆飛ばないナミテントウ

自然界にはあまり飛ばないナミテントウも存在することがわかりました。そうした個体を交配させ、飛ばない子どもを選び出すという作業を30世代も繰り返して、最終的に飛ばないナミテントウを得ることができました。現在、これ

は生物農薬として市販されており、農業用ハウスで利用することが出来ます。飛ばないナミテントウは幼虫の状態です。ハウス内に幼虫を放すとアブラムシを食べて大きくなり、成虫になっても飛ばずに食べ続けてくれます。生まれてくる子孫もやはり飛ばない性質があるため、長期間アブラムシを退治する効果が期待できます。



また、この飛ばないナミテントウは、遺伝子組換え技術を使わずに作りました。このためハウス内から飛ばないナミテントウが逃げ出した場合、ふつうのナミテントウと交配すると飛ばない性質の子孫が生まれますが、生態系を乱す心配はありません。